

## 注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

### 【タイトル】

転生サイコロ

### 【作者名】

真下屋

### 【あらすじ】

なんとなく思ったことを一時間で書き綴っただけ。  
神様転生って、どうなんだろうね。

## 転生サイコロ

人は死ぬと、どうなってしまうのか？

それに答えは無いし、例え答えがあったとしても、きっと一つではないと思う。

キリスト教信者だったら、天国があるんだろうし。

仏教信者であれば、輪廻転生があるだろうし。

無宗教なら、無が答えかもしれない。

それはきつと、答えなんかなくて。

答えなんて、人の数程あるんじゃないかと思う。

宗教で、信条で、誓約で、その人の信じるもので、もしかしたら性格なんかで、それは変わってしまうのだろう。

俺の姉はお星様になると俺に教えてくれたし。

俺は妹に心の中に居るよと伝えたことがある。

答えなんか無いし、恐らく、答えなんかなくていいのだ。

『そついうお前は、自分が体験しているモノを信じないのか？』

ああ、俺はどうしてこうなってしまったのか。

こんな真っ白い世界で、雲の上の世界で、『神』を名乗る存在と対話しているのか。

果ての無い空間に閉じ込められ、自称『高位な存在』である神様と二人っきりなのか。

『定型、御約束。テンプレート通りだろう？ さあ、望みを云え』

死ぬべき人間ではなかった。間違えた。元の世界には戻せない。お詫びに転生する世界の選択と、求める力を与えよう。

大仰に長々と説明されたのは、そんな内容だった。

テンプレートねえ。テンプレ・神様転生、ってやつです。知ってます。知ってますよ。

『お前の好きな世界は沢山あるな。どれでも選ぶと良い。誰もがそうしてきた。無数にある世界が、その数を一つ増やすだけなのだから』

例えば、魔法少女リリカルなのは。

救われなかった少女を救う。

例えば、ゼロの使い魔。

トライアングルやスクウエアに生まれ、領地で好き勝手する。

例えば、コードギアス。

ギアスを手にし、世界を改編する。

例えば、Fate。

ギル様に憑依してバビロン扉で俺つえーする。

例えば、インフィニット・ストラトス。

ISを使える男性になり、IS学園でハーレムする。

これまでもそうだった『渡ってしまった存在』が幾らでもいるらしい。

だろうな、と不満を抱きつつ納得した。

元の世界の並行世界もあるだろ。なんでその世界を勧めないのか。と疑問を抱くと回答が思考に流れてきた。

元の世界は『無い』から。

介入の手が入った時点で分岐が起こり、それはもう別世界。

俺が元の世界に戻ったとしてもそれは類似した世界の話で、結局俺を亡くして泣く両親、姉妹の涙は止められないのだ。

なら、それになんの意味があるのだろうか。

『そう考えるのであれば尚更、己が希望を叶えるべきだ。

お前は此処を夢だと思っっているようだが、実在する夢幻は現実と変わらない』

そうだな。そうかも知れない。

神様転生。転生トラック。チート転生。最近のトレンドだもんな。アンタはサイコロを振らないらしいが、そういう『遊び』はするんだよな。

人をダイスに見立てた、サイコロ遊び。

それを否定する気はねえよ。それを望んでいる人間が居るんだし。だけどき、それって本当にしたい事なのか？

お前がしたい事って。お前等がしたい事って、そうだったのか？ どういう人生を歩んだか知らないけど、それでいいのか？

これまで精一杯生きてない人間が、たかだか力を得ただけで幸せになれるのか。

んなことはないと、俺は否定する。

今日頑張れない人間が、明日頑張れる訳が無い。力が欲しいなら努力しろよ。

努力すらせずに怠惰に過ごして力を求めた腐った心の奴が、世界を渡って何を成せるってんだ。

今、自分のことすら真剣になれない人間が、借り物の力で誰かの力になろうってか。自分を幸せにしようってか。

笑える話だろ。

そんな人生を、そんな物語を、誰が望むってんだ。

『強がるな。お前は泣いている。悲しんでいる。悔やんでいる。そし

て、【新しい世界】を望んでいる』

ああ、そうだな。そうだろうさ。

仰るとおりで御座います。

けどさ、嘘じゃないんだよ。

俺は愛した。

俺は、俺の両親を、俺の姉を、俺の妹を、俺の友人を、俺の環境を。  
俺の人生を、愛した。

満足なんかしてねえよ。

けどさ、俺の人生だ。

俺だけの人生だ。

俺は不幸にも死んでしまったけど、それでいいんだ。

満足していない。やり残したことなんて山程ある。

だけど俺は幸せだったし、俺の人生は誇れるモノだ。

一生懸命に生きた。全力で遊んで、全力で学んで、全力で鍛えて、全力で休んで、全力でサボった。

反省は沢山あるし、後悔ばかりだけれど。

満足なんかしてないけど。

それでも、納得だけはしている。

俺は、『俺』を生き抜いた。

勝手に逝くことを、一言だけ皆に謝りたいけど。

あの愛しい人達が泣いているけれど、それはあの人達の人生で、それでいいんだ。

だから、嘘じゃない。

泣いてるし、悲しんでるし、悔やんでる。新世界を望んでいる。

だけど、好きだから。

俺はそれ以上に、自分の全てを愛していたから。

だから、逝って良い。

「お呼びじゃねえよ糞野郎。俺の人生に神様は不要だ。  
俺は死んだら星になって、誰かの心の中で生きるんだ。  
奇跡も転生も、要らねえよ」

じゃあな、神。

アンタがサイコロを振らない様に、サイコロを振らない人ってのも  
居るんだよ。

覚えとけ、糞野郎